

平成 30年度

東女11月号

ずいぶん涼しくなって、子どもたちにとって走り回るのが楽しい季節です。運動会の後、年長のリレーを真似して年中ではリレーごっこが始まりました。年少は年中から衣裳を借りてワニやちょうちよになって追いかけてごっこが大流行しています。各学年とも、仲間とのつながりがより一層深まってきました。

五感で受けとめたものを言葉や絵、製作などで表現したいという意欲も高まってきました。クラスごとにテーマを持ちながら作品展に進んでいます。

気温の変化が著しく、体調管理もしにくい時期です。手洗い・うがいをしっかりして予防に努め、気を付けて過ごしましょう。

年少

子どもたちは、運動会を終えて、友だちと一緒に遊ぶことが嬉しくなってきた様子です。

年中さんから運動会のジャングルの動物に変身できる衣裳を貸してもらい、身に着けてなりきってごっこ遊びを楽しんでいます。「私たちチョウチョは毒の粉でワニをやっつけるぞ。」「チョウチョを捕まえるぞ」始めはワニがチョウチョを追いかけるだけでしたが、子どもの中からチョウチョが毒の粉で反撃するというアイデアが生まれ、そこに年中さんにはなかったカマキリが登場して、新しい追いかけてごっこも始まってきました。

手足も活発に動かせるようになり太鼓橋や鉄棒に挑戦する姿が出てきました。表園庭のアスレチックにも遊びに行きました。表園庭には先生と一緒に時だけ行くと約束をしています。

友だちと一緒にいることが増えると、「私が先に使ってるの」「私も使いたいの」など、日常の中で些細な衝突も起きます。時には言葉より先に手が出ることもあります。先生は時に見守り時に両者の気持ちを聞き出しながら、「○○ちゃんもつかいたかったんだって」など、人にも思いがあることなどを知らせ、自分の思いを出せるように援助をしています。ご家庭では、爪をしっかり切り、心配なことがあったら幼稚園にお尋ねください。

運動会で、友だちと同じイメージの世界で自分の作ったものを使って遊ぶ楽しさを感じました。なりきってその世界に入って遊ぶ楽しさを感じた子どもたちは、ハサミ、粘土、折り紙、クレヨン、糊などの使い方にも慣れてきました。作品展に向けて、各クラス子どもの大好きなお話の世界を作りながら遊んでいきたいと思えます。

今月の目標

- 年少組 ・共通のイメージの中で友だちと関わって遊ぶ
 - ・作ったり、描いたりすることに興味・関心を持つ
- 年中組 ・友だちとの関わりの中で、自分を主張しながら、互いに気持ちの伝え方に気付く
- 年長組 ・仲間の中で一人一人が自分の考えや思いを充分に発揮する
 - ・友だちと協力する体験を通し、認め合う気持ちをもつ
 - ・いろいろな素材を使って工夫しながら作品作りを楽しむ

年中

秋の気持ちの良い気候の中で、体を動かして遊ぶことを楽しんでいます。

大勢の友だちと走ったり追いかけることが大好きで、ドロケイや、鬼ごっこをして遊んでいます。みんなで鬼を決める中で、「警察が少ないよ！」「じゃあぼくやる！」と、自分たちで遊べるように役割分担する姿が出てきました。はじめはタッチされるのが嫌な子もいて、タッチされたのにそのまま逃げ続けようとする姿もありましたが、「今タッチしたよ！」「つかまっても助けるから大丈夫だよ！」と、ルールを守れるよう声を掛け合うようになってきました。運動会でルールのある中で競争する楽しさを経験した事で、ルールのある遊びを通して、どうしたら楽しく遊べるか考えています。大勢の友だちと関わる経験の中で、友だちと思いを調整しているようです。

のぼり棒や鉄棒にも挑戦しています。上まで登れた子をクラスで紹介すると、自分もやってみたい、できるようになりたい、という気持ちになり、友だちと一緒に毎日挑戦している子も出てきました。「半分まで登れるようになった！」と少しずつできるようになっていくことを喜び、友だちが登れたことを「すごいね！上までいけたね！」と自分ができるようになったり、友だちに認められたりする嬉しさを感じています。

作りたいものや、やりたい遊びのイメージが湧いてきて、友だちと一緒に作ったもので遊んでいます。クレープ屋さんごっこの商品売るために、のぼりを作って宣伝したり、テレビを作ってニュースキャスターごっこをしています。自分たちでイメージしたことを、思うような形にするのはまだまだ難しいですが、先生が使えるような材料を出したり、それらしく環境を整えたりすることで、子どもたちのアイデアもどんどん湧いて、作りながら遊びを深めている姿があります。これから作品展に向けて、各クラス、お話の世界で遊んでいきながら、描いたり、作ったりする活動に友だちと一緒に取り組み、表現していきます。

今月のおやくそく

- ・使ったものは、必ず片付けましょう

今月の歌

- 年少組 きくのはな
- やまのおんがくか
- 年中組 こぎつね やまのワルツ
- 年長組 まっかな秋 世界中のこどもたちが

年長

運動会を終えてから、今度は年中組と一緒にリレーを楽しんだり、「サバンナ物語」の踊りを園庭で年少・年中の子と一緒に踊りながら教えたりと、運動会の遊びは続きました。

運動会を通して、挑戦していこうとする思い、諦めない気持ちも育っています。運動会後も跳び箱に挑戦し、どんどん跳べるようになっていくことに喜びと自信を感じ、今度は逆上がりにも挑戦しています。友だち同士で応援して、「○○ちゃん回れたの！」と自分のことのように喜んでいきます。「僕は2回出来たよ」と、競い合うことも楽しんでいます。

自分たちだけで電車に乗り、芋ほりを体験してきました。行く前から、どこの駅で降りるのか調べたり、バス通園の子にバスの乗り方を教えてもらったり、サツマイモの絵本を読んで、どのくらいのお芋が掘れるか楽しみにしていました。電車の中で手を繋いで転ばないように支え合ったり、車内放送をよく聞いて降りる準備をしたり、他のお客さんの迷惑にならないように注意し合う姿もみられました。

自分の手でお芋を掘っていき、「とれたー！」と高々と上げ、誇らしげに見せ合っていました。重いお芋を頑張って自分の力で背負って帰ってきました。成し遂げた充実感と自信を胸に、「自分たちでやろう」という思いで生活しています。

子ども達は、去年、年長組が作ったモザイクを見たので覚えていて、「知ってる！」「すごかった！」「今度は私たちが作るんだね」と興味津々です。幼稚園で育てたり、触れたりしてきたものや、年長組の今、好きなものというテーマで題材を選びました。丁寧に下絵を描き、5ミリ四方のピースを順番に貼り付けていく作業では、初めの一列を作っていくのがとても難しく、途中でくじけそうになる子どももいます。色を考えながら細かい作業を頑張っています。子ども達の思いが詰まった作品にご期待ください。

